



# Flash News

〈フラッシュニュース〉

三重大学

第6号

目次

- 『国立大学長・大学共同利用機関長等会議』及び『国立大学協会臨時総会』が開催される
- 「地域貢献特別支援事業」の紹介
- 放送大学と単位互換協定を締結
- 各学部の中期目標・中期計画

- 新しい外国語教育プログラムの提案—実践的な英語力養成をめざして
- 8月から医学部・附属病院の建物内での全面禁煙を実施
- レイモンドホールが登録有形文化財に指定される

お知らせ

- 企画・調整室から
- 遠隔事業室から
- 地域共同センターから

## 『国立大学長・大学共同利用機関長等会議』及び『国立大学協会臨時総会』が開催される

平成15年7月9日に、国立大学法人法が成立し、これを受けて7月14日、標記の2つの会議が開催されました。本学からは、矢谷隆一学長と三村洋史事務局長が出席しました。

国立大学長・大学共同利用機関長等会議では、遠山大臣から、国立大学法人化の国会における審議の状況や今後の準備の見通しなどについて挨拶がありました。特に今後の制度の運用に当たっては、「大学の自主的な判断」、「中長期的視点」、「透明性」、「柔軟性」の4つの原則に基づき、国立大学と文部科学省との新しいパートナーシップの確立を目指すことが述べられました。

国立大学協会臨時総会では、国立大学法人化についての国立大学協会の見解をまとめました。ここで、「学問の自由や大学自治の理念を踏まえながら、国民や社会の期待に応える国立大学として発展するため、誠心誠意取り組んでいく」と決意を述べ、国に対し、国立大学における教育研究の特性に配慮し、大学の自主性・自立性を十分に尊重することを要望しています。

## 「地域貢献特別支援事業」の紹介

フラッシュニュース第5号でお知らせしましたように、本学から事業申請した文科省の地域貢献特別支援事業が採択されました。本事業の基本コンセプトは、「美し国 三重のくにづくり～持続可能な魅力ある地域づくりを目指して～」で、表に記した合計8つのプロジェクトを展開することになります。それぞれのプロジェクトでは三重県と三重大学が協議しながら、持続的連携可能な観点から、テーマおよびプロジェクト担当者を選定しております。実行予算はまだ確定していませんが、確定しだい実施計画および事業推進のための具体的作業に入っていく予定です。

コンセプト	プロジェクト名	三重大学担当者
人と文化を育てる	地域の子ども・住民への文化・科学事業	教育学部(理科教育) 教授 西岡 正泰 他
	東紀州地域の文化的遺産の掘り起こしと活用	人文学部(文化基礎研究) 助教授 塚本 明 他
安全で安心な支え合い社会をつくる	地域特性に応じた在宅高齢者のQOL(生活の質)を高める支援システムの開発と運用	医学部看護学科(地域看護) 助教授 櫻井しのぶ 他
	ITを活用した医療連携支援ネットワークによる安心社会の実現	医学部附属病院(医療情報部) 教授 山本 皓二 他
	新たな防災事業体制の推進	工学部建築学科 教授 森野 捷輔 他
多様な交流・連携を通じ、個性と魅力ある地域を育てる	ケーブルテレビとインターネットを利用した双方向性公開講座「三重大学の広場」	教育学部(情報教育) 教授 村澤 忠司 他
	バーチャルミュージアム「伊勢湾博物館」の構築と運用	人文学部(文化基礎研究) 教授 山中 章 他
	地域連携フロントの構築と運用	生物資源学部教授 副学長 菅原 庸 他

## 放送大学と単位互換協定を締結

本学は、7月4日に放送大学との単位互換協定を締結しました。矢谷隆一学長と丹保憲仁放送大学学長が単位互換協定書に調印し、協定書を交換しました。今回の協定により、この10月から本学学生が放送大学の特別聴講学生として修得した単位は、三重大学の卒業要件の単位として認定可能になります。学生にとっては、より豊かな教養を培うとともに、幅広い知識を修得することができるなど、教育内容の充実に役立つものと期待されます。



矢谷隆一学長

丹保憲仁放送大学学長

## 各学部の中期目標・中期計画

文部科学省に提出する全学としての中期目標・中期計画（案）がほぼ固まり、7月9日には各学部の教授会で構成員に提示されました。全学の中期目標・中期計画（案）は、構成員からの意見や、三重大学改革会議等での検討を経て、評議会で承認を得た上で、8月末から9月の間に、文部科学省に提出される予定です。提出された中期目標・中期計画（案）は、10月に発足する国立大学法人評価委員会にかけられ、その結果、何らかの修正を指示される可能性があります。各部署等の固有の事項についても、各学部で検討がなされ、全学としての中期目標・中期計画と整合性をとりつつ、各部署の特色を表現した案がつけられつつあります。各部署の固有の事項の取り扱いについては、現在、文部科学省に問い合わせ中です。

## 新しい外国語教育プログラムの提案 - 実践的な英語力養成をめざして

7月2日の共通教育委員会（委員長：上野達彦共通教育機構長）で外国語教育部会より画期的な実践英語プログラムが提案されました。客観的な到達目標および評価基準を設定し、学生がそれを目指して自発的に学習できるようにするため、広く社会に認知されているTOEICの受験を全員に義務付けようというものです。TOEIC受験を目指して、学生の能力に応じたクラスを用意し、授業も集中的・体系的に行われることとなります。これにより、これまで以上に国際社会で活躍する人材を育成できるものと期待されます。平成17年度の実現を目指して、現在外国語教育部会・英語分科会でより詳しい検討に入っています。

## 8月から医学部・附属病院の建物内での全面禁煙を実施

健康増進法25条という法律が本年5月1日から施行されました。この法律では「学校・病院など多数の人が利用する施設では受動喫煙（室内などにおいて、他人のたばこの煙を吸わされること）を防止するために必要な措置を講ずるように努めなければならない」とされています。医学部（学部長：鎮西康雄教授）及び附属病院（院長：葛原茂樹教授）では、この法律に基づいて、8月1日から関連建物内の完全禁煙を実施することを決定しました。これまで分煙・喫煙コーナー等を設ける措置はとってきましたが、今後は教室、教官個室、研究室は勿論、病室も含め全て禁煙となります。但し、建物毎に屋外の決まった場所に灰皿をおいて喫煙できるようにするとのことです。「特に罰則はないが、隠れ喫煙などしないで、この決定に従ってほしい。また、本来は学内全ての建物で考えなければいけない問題であり、全学各部署の状況や事情に応じた措置が講じられることを望む。」と関係者は言っています。尚、法律の条文・趣旨などは (<http://www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/houkoku/judou.html>) をご覧ください。



## レイモンドホールが登録有形文化財に指定される

フラッシュニュース創刊号で既にお知らせいたしました。三重大大学のレイモンドホールは、その文化財的な価値が認められ、平成14年3月18日付けで国の登録有形文化財として登録されました。本学では三翠会館に次いで登録ですが、この度、文化庁より写真のような登録プレートが届きました。プレートには、「この建物は貴重な国民的財産です」と記されています。レイモンドホールが整備されて美しく蘇り、本学の新たなシンボルとして活用される日が待たれるところです。



## お知らせ

## 企画・調整室から - 和歌山大学との連携に向けて

フラッシュニュース第3号でお知らせしましたが、本学と和歌山大学との連携を推進するために連携協議準備会が設置され、これまでに2回の会合を持ちました。和歌山大学とは、本準備会の協議を経て、今秋に「連携協議会」（仮称）が設置される予定です。なお、両大学のホームページはお互いにリンクされましたので、ご利用下さい。

## 遠隔事業室から - 「三重大学の広場」で法人化への取り組みを紹介

「三重大学の広場」では、8月の放送で、豊田長康学長補佐が「国立大学法人化と三重大学の取り組み」について講演致します。ZTVのコミュニティーチャンネルで放映されていますが、本学のホームページからもご覧頂くことができます (<http://www.cc.mie-u.ac.jp/%7Eaz00021/mhiroba>)。

## 地域共同研究センターから - 「尾鷲を語る会」が発足

地域共同研究センターの岩田昭人客員教授（東紀州地域活性化事業協議会事務局長）を囲んでの「尾鷲を語る会」が発足しました。学部を越えて研究者が月に1度集まり、研究対象としての尾鷲の魅力を語り、可能性を探るものです。学際的地域研究の構築を模索すると同時に、フォーラム・イン東紀州や現地でのシンポジウム等を通して、尾鷲市との相互友好協力協定を実質化し、地域連携の深化を図る予定です。お問い合わせは人文学部・塚本明助教授（[tsukamot@human.mie-u.ac.jp](mailto:tsukamot@human.mie-u.ac.jp)）まで。

## 投稿のお願い

各種事項（法人化問題、地域連携、国際交流、学内事業等）に関するフレッシュなニュースの提供をお待ちしております。畑中重光（[hatanaka@archmie-u.ac.jp](mailto:hatanaka@archmie-u.ac.jp)）または井上真理子（[mariko-i@ab.mie-u.ac.jp](mailto:mariko-i@ab.mie-u.ac.jp)）まで。場合によっては、取材に向きます。なお、来月は休刊とさせていただきます。（フラッシュニュースのバックナンバーは、三重大学ホームページでご覧いただけます。）